



王喜の郷の輪 第16回
ケアハウス王喜の郷入居者 E・K様
昭和100年の節目にあたり
“古き良き時代の思い出”

私は昭和22年生まれの戦後丁度ベビーブームに生まれ育ちました。何事にも競争の時代でいつもドンケツで頑張っていました。幸せな事もありました。高度成長で就職は苦労がありませんでした。良い思い出もあります。結婚した頃はまだガスも水道も通っていません。風呂は五右衛門風呂。そのような時代でした。皆様も同じような暮らしだったと思います。今、こうした暮らしが出来るなんて思ってもみませんでした。今から少しでも永く続く事を祈っております。
“今が一番幸せ”



王喜の郷職員が取り組んでいる委員会をご存知ですか(虐待を防止する、身体拘束をしない委員会)
2月号は、ちょっとむづかしそうですが、「虐待防止と身体拘束」について皆様に知って頂きたいと思い書かせて頂いています。

今年は昭和100年です。読者の皆様もほとんどが昭和生まれで、敗戦から80年です。大まかな歴史が皆様の頭に浮かび「倫理社会」なるものに苦しめられたことや「人権学習」なるものがあつたことを思い出されることでしょうか。しかし「人権」は身近なものではなく「高度成長」や洗濯機、テレビ、冷蔵庫が身近な物でした。「人権を守る、人権を尊重する」は、とかく絵空事に終わりがちだったと思います。

さて介護保険のサービスをお使いになる時には必ず、「契約書」を取り交わしその内容を「重要事項説明書」で説明させて頂いています。そして皆さん署名をしてください。

最後の方に事業者は「虐待」はいたしません。「身体拘束」はいたしません。と書いてあります。当たり前のことでしょうと思われるかもしれませんが、介護の仕事をしていきますと良くその現場に出会い、判断を迫られます。これを「人権」の問題としてとらえ、王喜の郷職員の判断が適正に行くようにと研修や勉強会を行っています。令和元年から始めていますが令和2年からはコミュニケーション研修も歩調を合わせて行っています。

職員が様々な場面で人権を身近にとらえることができるように今年も努力していく予定です。

～白黒と塗り色するノック～
GIFT FROM SHINA



昭和レトロコンサート
今月の昭和レトロコンサートは
避難訓練を開催するため
お休みします。

お知らせ

2月3日(月)11時40分～11時55分
ケアハウス食堂にて
「節分の日の豆まき」を行います。
皆様、ご参加下さい。

お願い

現在、感染症が流行しております。引き続き、マスクの着用、外出時の消毒、手洗い、うがい等にご協力下さいますようお願いいたします。面会等も場所や時間などの制限をさせて頂いておりますが、必要に応じて居室への訪問も可能ですのでご相談下さいますようお願いいたします。

たんぽぽ通信

2月1日発行 216号
ケアハウス王喜の郷 令和7年2月号

Webページ <http://www.ryokujukai.jp>

2月になり寒さもあと一息というところです。王喜の郷では年末の12月から1月にかけて、様々な事業所でインフルエンザ、コロナの罹患者が出ました。おかげさまで1月半ばからは収束に向かいました。この間発熱のチェック、解熱、また食事の対応と防護服の着用。介護、看護、栄養が連携して当たりました。コロナ7次の予防接種も受けて頂いておりますが発熱は39度近くまであり、苦しい思いをされたり肺炎を引き起された方もありました。2度罹患された方もありました。

さて、罹患されたことのある方々はご存知でしょうが、特にコロナは後遺症がいろいろと出てきます。特に慢性疾患をお持ちの方はその症状がひどくなったり、治つたと治療をやめていたものが再発したりという事もあります。回復までに時間が必要です。まだまだ気が抜けませんが、換気、手洗い、消毒を徹底して予防に気をつけ元気に過ごしましょう。

施設長 末谷千秋

〈お知らせ〉
K・M様(103号) 入居されました。

2月のお誕生日&行事予定

日	月	火	水	木	金	土
						1 T・N様 誕生日
2 節分	3 立春 豆まき	4	5	6 S・K様 誕生日	7	8
9	10	11 建国記念日 K・N様 誕生日	12 K・K様 誕生日	13 T・S様 誕生日	14 聖バレンタインデー	15
16	17	18 雨水	19	20 M・Y様 誕生日	21	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25	26	27 ビューティーヘルパー	28	

*誕生日:お名前記載の方の誕生日です。

**ビューティーヘルパー:出張の理美容です。食堂白板に「申込み書」を貼っています。ご自分でご記名ください。

****レトロコンサート:第4水曜日に隣のシニアハウスにて開催。午前10時～11時15分まで。参加費は無料です。

☆昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。

※会場が狭いため参加の時には必ず事務所に声をかけてご相談されて下さい。

事業所だより

ケアハウス王喜の郷 新しい年になって早2月となり、年月の過ぎるのは早いものです。 今年で70才を迎えます。何故か最近、若い頃の記憶が不思議と蘇ります。年賀状を書いたりすると職場の先輩や後輩と旅行に行ったこと、同じ趣味で楽しんだこと、忘年会や新年会で騒いだこと、ラジオやステレオ(レコードプレーヤー)で聴いた曲など。買いあさったレコード盤もいつの間にか手元から消えていき、今ではレコード盤で曲を聴くことは出来ませんが、複製CDをレンタルしたり、YouTubeで曲を聴いたりして楽しんでいます。特にYouTubeは、曲名やアーティスト名から検索すれば100%聴くことができますし、レコード盤のジャケットが映るとなおさら懐かしく感じます。 王喜の郷ではレトロコンサートで懐かしい曲が聞こえてきますが、私と同じような思いの方も多いでしょう。若い頃、亡祖父母は明治、大正、昭和と生きてなんと長い時代を過ごされたものかと思っていましたが、何故か自分も負けずと仲間入りする身となりました。 これからもよろしく願います。 配食担当 吉坂学	王喜の郷デイサービスセンター 1月31日のケアハウス・デイサービス合同の誕生会 は楽しんで頂けたでしょうか？2月3日は節分の豆まきも予定されていますのでお楽しみ下さい。 突然ですが、日本人の死亡原因の順位をご存じでしょうか？1位は癌、2位は心疾患、3位は老衰、4位は脳血管疾患、5位は肺炎となっています。 1位の癌を予防するには、禁煙、節度のある飲酒、バランスの取れた食生活、適性体重の維持、身体活動感染予防などの健康習慣を身に付ける事が大切です。 また、定期的のがん検診をうける事も重要です。 デイサービスに勤めて、1年半が経とうとしていますが皆様が健康で楽しく暮らせる様にお手伝いが出来ればと考えていますので、健康面で何かお困りの事がありましたら、是非、相談頂ければと思っています。 看護職員 村上 さゆり	グループホーム王喜の郷ライム ライムでは1年を通して1日15分程度の外気浴や散歩を行っています、この時期は気温も低く、風も冷たい日が多く、入居者の方も「外に出たくない」外に出ても「もう入ろう」となかなか実施できないこともあります。しかし、天気の良い日は窓から差し込む日差しを背中に浴び、室内日光浴をしています。 「暖かいね」「気持ち良いね」と窓辺で談笑されている姿を拝見するとほっこりした気持ちになります。屋外での日光浴に比べると効果はそれほど期待できませんが、体温が上昇すると免疫力もアップし、血流も良くなります。 早く屋外で新鮮な空気を吸い、全身で日光を浴びれる暖かい春がくるのを入居者の皆さんと楽しみに待っています。 介護職員 杠 真奈美	グループホーム王喜の郷 暦の上では立春ですが、寒い日が続いております。 1月の鏡開きでは「ぜんざい」を召し上がって頂き甘いぜんざいの中のお餅にも「わぁ～、美味しいね。」ととても喜ばれていました。 グループホームでは、室内の温度や湿度を調整し、体調管理に努めています。また、天気の良い日には、機能訓練を兼ねて外気浴を楽しんで頂いています。 今年は立春が2月3日に早まり、節分は4年ぶりに2月2日となるそうです。王喜の郷では、2月3日の月曜日に赤鬼と青鬼が現れます。 「一年間健康に過ごせますように」と思いを込めて「鬼は外～！！福は内！！」と大きな掛け声で力いっぱい豆をまかれて、王喜の郷の節分を楽しまれて下さい。 介護職員 吉中 多佳子
王喜の郷居宅介護支援センター 私の担当している利用者の方の事例です。日頃から膝の痛みがあり、歩行が不安定で、転倒を繰り返しておられる方が、1月に入って体調を崩され、一週間寝込まれました。 その結果、家事や入浴、着替え等全ての行為に介助が必要になりました。本人と家族と話し合い、今必要な支援は何かを考えました。家事や着替え等、身の回りのことは家族で何とか支援ができるが、入浴は、浴槽を跨ぐことができず、家族では入れることができない為、介護サービスを利用して入浴ができる方法を提案しました。本人も、通所サービスでの入浴を希望されたので、事業所と相談し、入浴ができるよう調整しました。転倒や体調不良等で今までできていたことができなくなったりします。ケアマネージャーはその時の状態に応じて、お困り事を解決できるよう、本人・家族と話し合い、問題解決に向けて取り組んでいきます。 主任介護支援専門員 田邊美江	王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか ヘルパーは利用者のご自宅へ訪問し、お一人おひとりコミュニケーションをとって支援をさせていただいています。 嬉しい時、悲しい時なども共有して訪問時間を過ごしていきます。ご利用者ができることはして頂き、出来なかったとができるようになったと聞くと、訪問に入ってよかったと思います。 また、最近は乾燥強く、お肌がかサカサして、皮膚がポロポロ取れることがありますか？お肌が痒くなると掻いて皮膚が傷つくこともあり、そこから菌が入り、皮膚トラブルを起こす場合もあります。軟膏を塗るなどの対応をおすすめします。 これからも、皆さんが過ごしやすい日常生活を送れるように支援してまいります。 サービス提供責任者 山田 朋子	王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷 立春とは名ばかりで雪のちらつく寒い日が続き、皆さん春の訪れを心待ちにされています。 2月3日には毎年恒例の豆まきを行ないます。元々江戸時代に悪霊を追い払う宮中行事として始まり鬼の面をかぶった人が豆をまいていました。そして長い歳月を経て、現在では鬼に向かって豆をなげる形態へと変わっていったそうです。 今年は3名の方に年女として豆をまいていただく予定です。まだコロナなどが流行していますが豆まきという伝統行事を通じて利用者の皆さんと一緒に春の訪れに思いを深め、一年の健康と幸せを祈りたいと思います。 ミントの家 山根 徹	放課後等デイサービス さくら 1月に雪が降った時には、「積もったら雪遊びできる」「たくさん降ってくれた方が嬉しい」と言った声がきかれ、「寒い」と言っている子のそばで雪が降っている中、「ねえ、外遊びしたい」と元気に周りに言って回る子もいました。先日、普段はカード遊び等に夢中になる子が、「最近ハ、肉とか魚をたくさん食べたから、運動しないといけない」と大人顔負けの発言をした為、驚きました。 空気が乾燥しており、水分補給を忘れてしまう子もいます。空気の乾燥によって病気にかかりやすくなってしまうので、支援員一同、声をかけて見守りたいと思います。 間もなく節分です。「節分の日ハ、鬼が出るから来ない」と言う子、「退治してやる」と言う子、「緑鬼に立候補する」と、様々な声が聞かれますが、子ども達の中の鬼を追い払うことが出来たら良いなと思います。 さくら支援員 塩谷 一雅